

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	児童館・児童センター運営事業				会計	款	項目	大事	小事	
					01	03	02	04	02	09
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）			主管課	子ども家庭課				
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり			主管課長	石井 由美子				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	児童館・児童センターの利用者	意図	児童厚生施設として、児童に健全な遊びを与え、その健康増進や情操を豊かにすることを目的に事業を行う。
事業内容	市内7か所の児童館・児童センターにおいて、午前の幼児グループ活動や午後の遊びや読書などの活動を実施している。			
事業開始から現在までの状況変化	児童館は児童への健全な遊びを与え、児童の健康を増進し、または情操を豊かにすることを目的として設置されてきたが、近年は地域の子育て支援に拠点として役割を担うため、幼児向け事業も実施している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 年間延べ利用者数	126,762	134,681	142,281	人	↑↑↑	
	② 講演会開催数	3	3	3	回	→→	
	③ 講演会参加者数	113	145	159	人	↑↑↑	
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	地域の子育て支援の拠点として役割を担っている。					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		897,118	891,976	808,990			
事業費(b)(円)		897,118	891,976	808,990			
うち一般財源		897,118	891,976	808,990			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	児童及び保護者が利用しやすい施設にするに伴い、特色のある事業を行う。	③取組の課題	年齢層ごとの多様化するニーズへの対応、市民やNPOとの協働の推進。
②今年度(H27)に実施した取組	年齢層ごとのニーズに応じた事業を実施した。	④今後の改善計画	地域における子育て支援の拠点施設として、事業内容の充実に努める。